

東木ひさよ



ニコニコ通信 第15号

「笑顔あふれるふじさわのまちへ！」

H27年6月定例議会報告です。皆様の温かいご支援に支えられ、藤沢市議会議員2期目を迎えることができました。女性の代表として、子ども・若者・高齢者、すべての市民の方が笑顔で幸せに暮らせるふじさわづくりのため、一生懸命取り組んで参ります。



お困りごとの相談は身近な場所で・家庭訪問も可能に

藤沢市では、超高齢社会を迎え、身近な場所で相談できる体制を構築中です。介護や医療のほか、悩み事は多種多様です。困っていても自分から声を上げにくいもの。切羽詰まるまで抱え込む、時間的にゆとりがない…。また、ご自宅に訪問してこそ家庭の正確な課題が把握できます。今後 アウトリーチ(家庭訪問型)の対応を要望し、実施充実する方向へ。また、地域で困っている方に寄り添って、サポートに奔走する コミュニティーソーシャルワーカーの早期配置について、28年度から配置予定と確認しました。

※藤沢市では相談支援ネットワークを市内全域に張り巡らせ、生活困窮やお困りごと、一人ひとりに応じたオーダーメイド型のサポートに取り組んでいます！



「将来を担う若者」をみんなで応援を！

未来の主役・支え役の子ども・若者の育成は、今後もっとも重要です。特に昨今の若者世代は、バブル崩壊により、就職できない、非正規労働、経済力がなく自信を失う、結婚できない、親の介護も抱えている…。抱える悩みは深いです。さらには、困っても声を上げにくいもの。社会が気づかず放置してきた側面もあります。すべての若者が思う存分活躍できるように、以下の通り提案しました。

- ① 「若者総合相談窓口」の設置。※家族の悩みも含めて幅広く対応できるように。
- ② 若者向けのジョブカフェ、就労支援センターの開設。※仕事の悩みが一番大きいです。
- ③ 正規労働に就けるような支援の構築を！湘南合同面接会を正規労働者対象に。
- ④ 婚活の支援。出会いの場の創出や異性とのコミュニケーションスキル習得の機会を。
※未婚率の上昇も深刻。35歳男性で50%超。一方、未婚者へのアンケートで結婚を希望している方は9割弱（H25年度厚生労働白書）です。
- ⑤ 若者への対策について、重要な最優先課題として、全庁あげて検討していくこと。



※今後、藤沢型地域包括ケアシステム庁内検討会での「子ども・子育て・若者」専門部会の中で、今後検討していくとのことになりました

ふじさわ最新情報！

キュンとするまち・藤沢商品券が発売！（8/5より）

20%プレミアム付きの、（5000円で6000円、10,000円で12000円）「キュンとするまち・藤沢商品券」が発売されます！！ これは、与党公明党が地域経済活性化のために主張して実現した国の交付金を活用してのもの。①利用期間は、8/5～12/31、②発売場所、③利用店については、「7月25日発行広報ふじさわ」、あるいは一般紙折込にてお知らせする予定です。



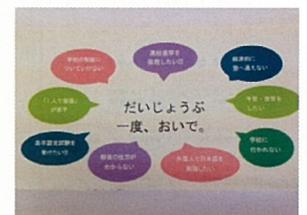
「江の島」が東京オリンピック「セーリング本会場」に決定！



2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて、我が藤沢市の「江の島」がセーリング本会場に決定しました。「市民参加のオリンピックへ」準備を開始します。（※昨年9月議会で取り上げ、市民の健康増進、高齢者のボランティア参加拡大、子どもたちの海外交流、文化芸術振興の機会に、と提案しました）今後もオリンピックレガシー（遺産）を残せるよう、様々な観点で提案をしていきたいと思います。

オーダーメイド型で本来の力を引き出すサポートを開始！

お困りごと抱えた方のために、4月より「バックアップふじさわ」総合相談窓口に加えて、一人ひとりに適したオーダーメイド型・エンパワメント視点の支援事業が始まりました。「就労準備」・「家計相談」・「子ども学習」。第2のセーフティーネットと言われ、トランポリンのように、立ち直って元気になって、本来持っている力を発揮できますように。



東木ひさよフェイスブックQRコード



東木ひさよプロフィール

藤沢市議会議員2期、北海道旭川市出身、道立旭川東高、明治学院大学卒

※2015年度は、子ども文教常任委員会委員長に就任。その他、補正予算常任委員会、広報広聴委員会、議会改革検討会、藤沢都心部再生公共施設再整備特別委員会の各委員に就任、自宅Tel・fax88-1125 PCアドレスhisayo2011@yahoo.co.jp